

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Sep.2010

9

No.599

特集 種を蒔こう

額ひたいの汗は、頑張あかった証し

猪苗代幼稚園の園児たちは8月26日、園内の畑でジャガイモ掘りに挑戦しました。「大きいのあったー」「先生見てー」と喜びの声が上がります。園児たちは、たくさん汗をかきながら、一生懸命ジャガイモを掘りました。



初めての Chapter 1 体験

高まる田舎への需要

大量生産・大量消費の高速型ライフスタイルは、もはや時代遅れ。効率優先、画一化された社会は、人間関係の希薄化や自然と触れ合う機会の減少を引き起こした。

近年、そういった社会に疑問を抱く人々が、地球環境にやさしいエコな暮らしやグリーンツーリズムなどに代表される「心の癒やし」を求めるライフスタイルを選び始めた。都市と農山漁村に住む人々が、お互いの地域の魅力を理解し合い、交流する取り組みが活発化してきたのは、自然な流れだと言える。そのような時代の中、農業体験などを通して、子どもたちの心の豊かさや生きる力を大きくむ、教育旅行の需要が高まりを見せている。

猪苗代の農業を体験

都会の子どもたちが、農山漁村で長期宿泊し、その土地の自然や地域に住む人の暮らしに触れ、地域住民との交流を通して、自然や人との触れ合いの大切さを学ぶ農村生活体験。

本町でも、昨年から本格的に農業体験の受け入れが始まった。昨年は3校253人が、本



特集 ま 種を蒔こう

グリーンツーリズムなどに代表される、都市と農山漁村に住む人々が、お互いの地域の魅力を理解し合い、交流する取り組みが活発化している。その中でも、近年特に注目されているのが教育旅行だ。需要の高まりを見せる教育旅行を通して、都会の人たちが、この町を訪れるためには、何が必要かを考える。

年度は、4校593人がこの町を訪れて農業体験を通じた交流をしている。

松戸市立第六中学校の農業体験は6月10日に実施され、2年生の292人がクラスごとに、ひし巻き作り、苗の植え直し、ニラの出荷作業やトマトの苗植えなどを体験した。

生徒たちの指導に当たった農家では、「まず、猪苗代の自然に触れて、その素晴らしさを実感してほしい。そして、毎日自分たちが食べている農作物が、どのように作られているのか、農業の大変さ、大切さを知り学んでほしい」と話した。

生徒たちは、初めての体験に戸惑いながらも、笑顔で作業に取り組んだ。ひし巻き作りでは、笹の間からこぼれ落ちるもち米に悪戦苦闘した。田んぼに入り、苗を植えながら、泥の感触を楽しんだ。初めて握ったおにぎりは、少しかっこ悪かった。

そして、自分たちのために、一生懸命に農作業を教え、気遣ってくれる、地域の人のやさしさと温かさに触れた。「すべてが初めての経験です。難しいし、疲れたけど、楽しいです。田舎の人は、本当にあったかいですね」生徒の一人は、そう言って笑った。

1_長坂地区の田んぼで、苗の植え直し。楽しそうな笑顔が弾ける 2_初めて乗った軽トラックの荷台。作業の合間に、みんなでちょっと一休み 3_中ノ目地区でひし巻き作りに挑戦中。ひもの縛り方や穴の閉じ方に悪戦苦闘 4_相名目地区ではニラの出荷作業を体験。生徒たちが頑張って束ねたニラは、店頭と並ぶ 5_曲淵地区のビニールハウス内でトマトの苗植え。苗を植えた後は、ていねいに土で覆う 6_五十軒地区の宇川クリーンファームで、おにぎり作り体験。ゴマをどうしていいかわからず、おにぎりの中に入れてしまった生徒も 7_地域の人と協力して、ニラの袋詰め作業



これからの Chapter 2 課題

猪苗代の林業を体験

つくば市立谷田部中学校の農業体験は7月15日に実施され、2年生の163人が、クラスごとに、花の管理、野菜の収穫、水生生物の採集や枝うちなどを体験した。

林業体験を実施した長坂地区では、NPO法人「会津の森林を育む協議会」の鈴木良一さんと長坂地区の住民らが、枝打ちや下草刈りなどの指導に当たった。作業前のレクチャーでは、森林が果たす役割やなぜ枝打ちが必要なのかを話し、生徒たちに林業の重要性を説いた。枝打ち体験では、ヘルメットをかぶり、手にのこぎりを持った生徒たちが、余分な枝を落とす、倒木を細かく切るなどの作業に取り組んだ。



枝打ちに挑戦する谷田部中学校の生徒



谷田部中学校の生徒たちから届いたお礼の手紙

教育旅行終了後、生徒たちからお礼の手紙が届いた。「農業、林業の大変さ、大切さが分かった」「収穫したてのキュウリは、今まで食べた中で一番おいしかった」「いい思い出になった」などのほかに、お世話になった人の体を気遣う言葉が多かった。体験を通じた地域のひととの心の交流が垣間見えた。

猪苗代をまるごと体験

ことしで3度目となった調布市立富士見台小学校の「山と湖の磐梯キャンプ」は7月25日から31日まで、民泊を含む6泊7日で開催された。

民泊体験では、5年生の児童ら34人が、3班に分かれて長坂地区の民家に宿泊。ホテル見学

本格的な受け入れが始まってから、まだ2年目の本町の教育旅行。この地を訪れた学校をリピーターにするためには、新しい学校を呼び込むために、一体どんなことが必要か。受け入れ団体が今後の課題を話し合った。



あいさつをする鈴木宣夫観光協会会長

農業体験の情報を、交換・共有することで、体験内容の充実を図るための反省会は7月9日、

いくな郷の蔵2階の多目的ホールで開かれた。会議では、教育旅行の受け入れ団体が一堂に会し、これまでの農業体験実習の問題点や改善点を話し合った。意見の一部を紹介する。

農業体験について

・学校と協力して、もっと早いスケジュール管理ができないか。



中ノ目愛菜クラブ、吉野肇さん

・子どもたちは、休憩時間や自由時間も楽しそうに遊んでいる。作業に縛られることなく、自由時間を増やしてあげられないか。

か。教育旅行に合わせて畑を空けたり、作ったりする場合もあるので、学校や旅行代理店を含めた体制づくりが必要だ。
・事故、ケガなどが起きた場合の緊急連絡体制がはっきりしていない。保険だけではなく、そういういったものこそ早急に整備すべきだ。
・農業体験をして終わりにするのではなく、その後の育成状況の発信や学校を訪問して販売するなど、交流を継続する企画づくりをしてはどうか。

や農業体験などを通して、受け入れ農家との交流を深めた。また、野口英世記念館の見学、磐梯山登山、猪苗代湖のカヌーや民話語りなど、この町にある魅力を存分に体験した。



収穫したジャガイモを水洗いする



長坂地区の鈴木忠一さん宅で民泊を体験する富士見台小学校の児童ら



磐梯スポーツ村、宇南山隆さん

子どもたちについて

・一生懸命にやる子どももふざけている子もいる。先生の指導が欲しい場面もあった。
・事前に子どもたちの情報を教えてほしい。例えば、疲れやすい子なら、他の作業をやつてもらうなど、情報をもとに細かい対応ができる。学校、旅行代理店との打ち合わせが必要だ。

宿泊について

・民泊の受け入れ農家がまだ少ない。町が補助を出すなどして受け入れ農家を増やすことを考えられないか。

食事について

・6月ごろまでの地物の野菜ができていない時期、猪苗代の家庭の味である山菜や保存食が、子どもたちに受け入れられるか。自分たちでおにぎりを握る体験は、好評だった。



相名目地区、瀬戸亮さん

短時間の反省会ではあったが、受け入れ農家では、多くの成果や反省点を見つけていた。この町の農業体験の受け入れは、まだまだ始まったばかり。システマ的な課題は、学校、旅行代理店や町などと話し合い、徐々に改善していけばいい。

重要なのは、猪苗代でなければ体験できない、「猪苗代オリジナルの教育旅行」を提供することではないか。

おもてなしの心で、生徒たちを迎える。飾らない、ありのままの生活や農業体験を通して、生徒たちと心のかよった交流をする。それはすでに、この町オリジナルの教育旅行。

この町での体験やあたたかい交流が、生徒たちの心に刻まれ、大人になった彼らが、猪苗代を「第二の古里」として訪れる。そんな教育旅行にするためには、受け入れる農家だけではなく、地域や町民全体での取り組みが必要だ。

Chapter 3 猪苗代ツーリズム

都市と農山漁村が交流することの魅力は、教育旅行に限ったことではない。教育旅行の猪苗代オリジナルの考え方は、本町の基幹産業である観光にも共通している。交流がこの町にもたらすものは何なのか。

交流人口を増やす

交流人口とは、観光や教育旅行など、さまざまな理由でこの町を訪れる（交流する）人のことを指す。この町に住んでいるわたしたち、定住者の人口に対する概念である。

少子高齢化が一段と進む中で、定住人口の増加を追い求めることは困難となりつつある。このため、定住人口ではなく、交流人口を増やすことによって、地域の活力を高めていこうという意識が、日本中で一般化しつつある。

定住人口が減り続けている本町も例外ではない。町の基幹産業である観光や商業面から考えてみると、わたしたちが1日に使う金額と比べ、代表的な交流人口である観光客が1日に使う金額のほうが、はるかに高い。つまり、交流人口をいかに多く獲得できるかに、本町の浮沈がかかっているとも言える。

ろな面での猪苗代オリジナルの確立が、今、求められている。



猪苗代ツーリズム

猪苗代オリジナルの農林業体験プランとは、一体どんなものだろうか。本町の教育旅行に対する取り組みで触れた、農林業体験は、一般の観光客についても応用できる。そこに、磐梯山猪苗代湖、野口英世記念館、そぼや民話など、この町にあるたくさんの魅力をリンクさせ、「猪苗代ツーリズム」として観光客に提供できれば、非常に魅力的なのではないだろうか。

農業、林業だからといって、作業にこだわる必要はない自由度の高い「農家体験」を



宇川クリーンファーム 代表 宇川 進さん

「先日、6月に教育旅行でここを訪れた松戸市立第六中学校の生徒が、遊びに来てくれました。本当に楽しかったと言って、家族を連れて来てくれたんです。うれしかったですね」そう語るのは、宇川クリーンファームを経営する宇川進さん（五十軒）だ。

教育旅行の休憩時間に、近所の農家をお願いして、牛の餌になる草をロールにする作業を見せてもらった。すると子どもたちは目を輝かせて作業を見つめていたという。

「田んぼの間を流れる水路や作業をするトラクターなど、わたしたちが本場に当たり前だと思っていることが、都会の人にとっては非日常。特別な体験なんです」と語る。

「農林業体験だからといって、田畑や山で作業をするだけでにこだわる必要はありません。ありのままの農家の生活を見せるだけでも、都会の人たちは感動するんです。猪苗代には、魅力のある場所がたくさんあります。それを見い出して有効に利用したほうがいい。【農業体験】ではなく、もつと自由度の高い【農家体験】にすることで、この町の魅力を、さらに伝えられます」と話す。

「町が購入した冷害試験地の跡地に、体験農場としての基盤を作ってほしいです。そして、農業体験などを全町的にバックアップしてほしいです」宇川さんは、そう言っ

猪苗代オリジナルの教育旅行プランや農林業体験プランとは、この町の地域事情に合わせたプランと言い換えることができると思います。

例えば、町内の民宿などでは、7、8月は学生合宿の受け入れを中心に営業をしてきました。そういうリピーターは、これからも大事にしていきたい。農林業体験の生徒たちは、合宿の団体と同宿というのを好まない傾向にあります。

この時期に、民泊を中心に対応するためには、民泊を受け入れてくれる人が足りないのが現状です。農林業を営んでいる人の中から、民泊を受け入れてくれる人を増やしていきたいと思います。そうで

ない時期には、ホテル、旅館や民宿などに宿泊しても、農林業を体験し、しっかりと交流の時間が作れるプランを作れることも忘れてはいけません。

農林業体験の参加者が増えることは、猪苗代のファンが増えることにつながります。買い物などで、猪苗代の名が入った商品に、親近感を覚えて購入したり、家族や友人と一緒に猪苗代を訪れるリピーターになったりすることが期待されます。そのためには、教育旅行などでこの町を訪れる生徒たちや観光客と、心から交流をすることが大事です。

町民一人一人が、おもてなしの心を持って、外から来たお客さんと接してほしいと思います。

農林業体験の参加者を増やすことは、猪苗代のファンを増やすことにつながる



いなわしろ体験学習推進協議会 事務局 (社)猪苗代観光協会 天野 信雄 事務局長

団体や家族連れの猪苗代ツーリズムを、個人として受け入れられる体制を持つ農家は、まだそんなに多くはない。しかし、民泊でなくても、人と人との交流を持つことはできる。町内にたくさんあるホテル、旅館や民宿なら受け入れは可能だ。農業をしていない民宿でも、ホテルや旅館と同じように、農家などに協力を依頼して、農業体験を実施することができる。

ニーズに合わせる

1週間程度の長期滞在ができるのなら、余裕を持って猪苗代ツーリズムを楽しむことができ。しかし、ヨーロッパ諸国などと違い、グリーンツーリズムなどの概念に乏しい日本では、長期滞在自体が難しい。では、多くの一般的な観光客が、猪苗代ツーリズムをあきらめなければいけないのだろうか。それならば、1泊2日でも、この町の魅力を堪能できるプランを作ればいい。

幸いにも、この町は人材の宝庫だ。知識や技能・技術を持ったシルバークリエイター世代がたくさんいる。民宿や旅館に泊まり、農林業体験やそば打ち体験をし、夜は民話語りや耳を傾ける。次の日には、磐梯山、猪苗代湖や野口英

世記念館を訪れて、家に帰る。そんなプランを作ることができ。また、冬になればスキー場という魅力が追加される。この町には、さまざまなニーズに添えられる条件が揃っているのだ。

地域が活性化

猪苗代ツーリズムの実施によって、新たな雇用の創出も見込まれる。民宿が忙しくなれば、手伝いが欲しくなる。そば打ちや民話語りは、趣味ではなく、ちょっとしたサイドビジネスになる。そういった、新たな雇用やシルバークリエイターの有効利用などが、町の外からお金を呼び込み、地域経済を活性化させることになる。

都会の人たちが、この町を訪れることやシルバークリエイターに活躍することは、地域や地域に住むわたしたちを活性化することにもつながるのだ。



今年のいなわしろ民話祭りの様子

Chapter 4 種を蒔こう

全国には1,700を超える自治体がある。この町に来てくれた学校や観光客は、その中で猪苗代を選んでくれた人たちだ。わたしたちは、1,700分の1に選ばれた誇りと自信を持ってこの町をPRしていこう。おもてなしの心を胸に抱いて

子どもたちの心の中に

わたしたちの心の中に

先人から受け継いだ、この地域に誇りを持ち、自信を持って発信していく

曲淵大根クラブ会
会長 佐藤 智昭さん
(中央左)



左から鈴木吉彦さん、佐藤会長、佐藤孝子さん、渡部喜則さん

「農業を通して、都会の子どもたちに、農業の大切さと人と人との触れ合いを教えたい」と、3年前から富士見台小学校の教育旅行受け入れを開始したのが、曲淵大根クラブ会だ。「いい先輩に恵まれて、いいメンバーで活動できている」と話すのは、佐藤智昭会長。

「教育旅行の受け入れをすることは、自分自身の教育でもある。だから、教育旅行の前に、しっかりとミーティングをして、農業体験の質を上げたい。子どもたちにとって最高の体験をしてもらい、何か一つか二つ、心に持って帰ってほしいんです」と真剣な表情で話す。同会では、教育旅行だけで

はなく、地元の小中学生とも交流をしている。「昔は、このあたりの子どもたちにも農業体験なんて必要なかった。家の手伝いをしろといえ、農作業だったから。今の子どもたちは、そういう体験をしていないから、わたしたちが体験をさせているんです。それが、担い手の育成などにつながります」会長は自信を持って答える。「先人たちやおじいさん、おばあさんの世代などが残してくれたこの地域をつないでいくという意識で活動している。この地域に誇りを持ち、自信を持って発信していくこと。この思いを次世代に継承していきたい」佐藤会長は、引き締まった表情で、そう話した。

極上の田舎暮らし

一昔前の日本では、都会に出て「一旗挙げる」のが成功の証しとされていた。しかし、時代は変わった。

「わたしたちは田舎に住んでいるから」と引け目を感じていた人たちが、「わたしたちは、魅力にあふれる田舎に住んでいる」と胸を張る時代になった。

本町を訪れる農林業体験の生徒たちは、本年度で593人。観光客は、年間約200万人。そして、それだけの人が訪れるということは、この町の歴史、文化、自然やこの町に暮らすわたしたちの生活に、魅力があるということだ。

磐梯山や猪苗代湖に囲まれた中で、農業を営み、季節を感じながら生活する。わたしたちにとって当たり前の日常は、都会で暮らす人々にとっては、お金を払ってでも体験したい、非日常。昔から続いてきた、磐梯山猪苗代湖や野口記念館という観光に、農業体験を通して、人と人とのコミュニケーションという付加価値が加わった生活は、まさに、極上の田舎暮らしだ。

1,700分の1の誇り

全国には1,700を超える

自治体がある。この町を選んで来てくれた学生たちや観光客は、この町を1,700分の1に選んでくれた人たちだ。

1,700分の1に選ばれた誇りを持って、この町で生活していこう。1,700分の1に選ばれたという自信を持ってこの町を発信していこう。そして、1,700分の1に選んでくれたすべてのお客さんに、「感謝とおもてなしの心」をもって接し、猪苗代を選んでよかったと言ってもらえる交流をすることが重要だ。

交流人口を増やし、町を活性化させるためには、わたしたち一人一人が、この町を訪れた人と、どれだけ心を通わせる交流ができるかにかかっている。

教育旅行に訪れた生徒たちの心の中に、何か一つでも成長するきっかけとなる種を蒔こう。わたしたちの心の中に、「おもてなしの心」が育つ種を蒔こう。どの花もかわいらしい芽を出し、立派に咲くことだろう。その花の中から、猪苗代に根付く花があるのならば、こんなにうれしいことはない。

特集 種を蒔こう 終わり



英霊800余柱の冥福を祈る

戦没者追悼式と慰霊祭が催される



献花台に花を手向ける古川一吉遺族連合会長

町戦没者追悼式は8月6日、町体験交流館学びいなどで執り行われました。式には遺族連合会会員や来賓など約200人が出席、国歌斉唱の後、黙とうをささげ、先の大戦で犠牲になった800余柱の冥福を祈りました。津金町長が「尊い犠牲の上に築かれた現在の平和と繁栄を維持し、発展に努めることが英霊の思いに応えること。町民の皆さんが安心して暮らせる町づくりを進めていく」と式辞を述べた後、山口靖明会津保健福祉事務所長、鈴木武喜議長が追悼の言葉を述べました。

追悼式に続き、町遺族連合会主催の慰霊祭が開催されました。

納税への取り組みに感謝状

県会津地方振興局が感謝状を贈呈



左から蓮沼部長、常盤会長、津金町長

納税功労者に対する、会津地方振興局長の感謝状贈呈式は8月2日、町役場で開催されました。贈呈式には、会津地方振興局から蓮沼謙一県税部長らが出席し、常盤嘉一納税貯蓄組合連合会長に感謝状を手渡しました。この感謝状は、納税の意義を認識し、その普及に努め、県税の納税に寄与した功績をたたえるとして常盤会長に贈られたものです。

蓮沼県税部長は、「納税貯蓄組合の皆さんには、いつも期限内納税に努めていただき感謝しています。これからも引き続き納税への理解と協力をお願いしたい」と感謝を述べました。

伝統の精霊送りしめやかに

幸野地区の伝統行事「精霊送り」



提灯を手に集落の中を歩く住民の皆さん

町内幸野地区の伝統行事「精霊送り」は8月16日、同地区で開催されました。お盆に各家庭に帰ってきた先祖の霊を、地区住民みんなで送るこの行事は、幸野地区に古くから伝えられてきたものです。全世帯から、必ず誰かが参加するのが習わしで、神棚に飾ってあったしめ飾りや仏壇に上げた花などを持ち寄り、行列の終点で火にくべて燃やします。

当日は、太鼓を先頭に集落の南側から行列が始まり、終点に着くころには100人を超えていました。終点では、梅花講の御詠歌で先祖の霊を送りました。

長年の協力に感謝を込めて

町内の4事業所に日赤から感謝状



4事業所の代表の皆さんと津金町長(中央)

町内で5年以上献血に協力した事業所への日本赤十字社県支部長感謝状の伝達式は8月25日、町役場で開催されました。

伝達を受けたのは、ヨークベニマル猪苗代店(大塚静夫店長)、リオンドール猪苗代店(佐原章子店長)、東北シール工業(鹿又進代表取締役社長)、猪苗代町振興公社(阿部吉作理事長)の4事業所。21年度末までの献血実績の合計は、延べ1,758人になります。

式では、津金町長が、各事業所の代表者に感謝状を手渡した後、「多忙中、日ごろから献血にご協力をいただき、ありがとうございます。今後もよろしくお願いします」と感謝を述べました。

4人の女将が猪苗代をPR

野口英世生誕の里 女将の会発足



左から渡部さん、佐賀さん、津金町長、星さん、穴沢さん

町内翁島地区の4つの旅館、ホテルの女将さんが「野口英世生誕の里 女将(おかめ)の会」を結成しました。

メンバーの穴沢恭子さん(住吉館)、星久子さん(たなべの湯)、佐賀まき子さん(さぎの湯)、渡部千賀子さん(ホテルみなとや)は8月25日、町役場を訪れ、津金町長に結成の報告をしました。

「女将さんよりおかめのほうが親しみやすいでしょ」と話す4人は「今まで町内には、女将の会のような団体はなかった。わたしたちが、地元の翁島地区をはじめ、猪苗代の魅力をPRし、町を活性化させたい」と抱負を語りました。

ふる里かるたなどを楽しむ

学びいな夏祭りがにぎやかに開催



いなわしろふる里かるたとり大会の様子

町体験交流館の学びいな夏祭りは8月21、22の両日、同館で開催されました。この夏祭りは、同館の生涯学習事業や体験交流協会会員らの活動成果の発表の場であると同時に、町民の交流の場として、毎年開催されています。

会場では、手芸、つるしびな、絵画、紙粘土やトールペイントなど、多くの作品が展示されました。また、絵手紙、勾玉づくり、フラワーアレンジメントやいなわしろふる里かるたなどの体験コーナーでは、大人も子どもも一緒になり、楽しそうに取り組む姿が見られました。



6



7



8



3



2



1

6_1, 2番員の筒先員交代 7_8_選手だけではポンプ操作はできない。指導する消防署員や団員のサポートが必要 9_スタート前、チームリーダーが気合いを入れる 10_息の合った吸管操作を見せる 11_北会津大会で優勝。笑顔を見せる第五分団の団員たち

1_選手たちの競技を応援する団員たち 2_筒先での操作は、常に前傾姿勢が要求される 3_呼吸を合わせ、素早く吸管を伸ばす 3, 4番員 4_放水やめめの合図にもきびきびとした動作が求められる 5_第2線延長の号令に合わせて一気に筒先を目指す 2番員

緊張の夏

ポンプ操法の夏

Fire Fighting Spirits 2010

選手はもとより、団員一同に感謝している。今まで経験したことがないほど、団員が一つにまとまっていた。団員一人一人が選手を支えようと努力し、築き上げたきずな。それがこの結果をもたらしたと思う。団員たちを支えてくれた家族の皆さん、指導に来てくれたOBの皆さん、本部の皆さんや忙しいなか指導してくれた消防署員の皆さん。すべての人に感謝しています。

感謝
第五分団
六角保夫分団長



北会津大会で表彰状を受け取る六角分団長



10



夜警、検閲、月に一度の火災予防の巡回や予防消防活動など、日ごろから地域の安全を守るために活躍する消防団。その活動の中に、夏の風物詩、消防操法大会があります。

二十二年度町消防操法大会は七月十一日、猪苗代小学校グラウンドで開催されました。大会には、町内の六消防団が出席し、消防ポンプの操作の正確性や放水までのスピードなどを競い合いました。この結果、ポンプ車操法の部、小型ポンプの部ともに第五分団が優勝しました。成績は次の通りです。

「ポンプ車操法の部」
①第五分団②第四分団③第六分団

最優秀選手▼指揮者Ⅱ渡部祐樹(第四分団)▼一番員Ⅱ佐藤翔太(第六分団)▼二番員Ⅱ関和達也(第四分団)▼三番員Ⅱ鈴木一史(第五分団)▼四番員Ⅱ佐藤優樹(同)

「小型ポンプ操法の部」
①第五分団②第六分団③第三分団

最優秀選手▼指揮者Ⅱ渡部崇宏(第五分団)▼一番員Ⅱ小熊義紀(第六分団)▼二番員Ⅱ宮沢重嗣(第五分団)▼三番員Ⅱ筑井章介(同)

北会津地方消防操法大会は八月一日、会津若松市の会津若松消防署城南分署で開かれました。町の代表として参加した第五分団は、ポンプ車操法の部、小型ポンプの部ともに見事優勝を飾り、県大会への出場を決めました。成績は次の通りです。

「ポンプ車操法の部」
①第五分団②会津若松市消防団③磐梯町消防団
「小型ポンプ操法の部」
①第五分団②磐梯町消防団③会津若松市消防団

福島県消防操法大会は八月二十二日、福島市の県消防学校で開かれました。予選を勝ち抜いた県内の30チームが、優勝を目指し、日ごろの訓練の成果を競い合いました。北会津地区の代表として出場した第五分団は、ポンプ車操法の部で7位、小型ポンプ操法の部で13位という成績で緊張の夏に終わりを告げました。選手の方々に疲れさまでした。そして、選手の練習を一生懸命にサポートし、水槽やホース巻きなどの準備をした団員の皆さん、時間を割いて、熱心に指導に当たってくれた猪苗代消防署員の皆さん、本当にお疲れさまでした。



平成22年10月1日

国勢調査を実施します

●国勢調査は、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。

●22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する、最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

●調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、わたしたちの暮らしのために役に立てられます。

●9月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。

●記入していただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員に渡していただくか、郵送提出用封筒に入れ、町に郵送で提出してください。

「調査票提出方法の推奨」

●調査票の提出方法は、皆さんが選択できますが、町では調査員に渡していただく方法を推奨しています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



身分証と腕章を着けて、国勢調査の袋を持った調査員がお宅に伺います



国勢調査員証



腕章

総務省・福島県・猪苗代町

国勢調査については、22年国勢調査広報サイト「国勢調査e-ガイド」をご覧ください。

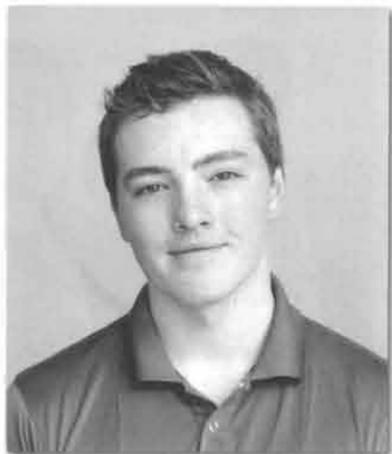
国勢調査e-ガイド

検索

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

●問い合わせ先
企画財務課 企画調整業務
☎(62) 2112 FAX(62) 5175

新しい外国語指導助手の アラン先生を紹介します



Mr. Alan Inkster R

Profile アラン インクスター
1988年1月27日生まれ 22歳
英国 スコットランド アバディーン出身
ロバート・ゴードン大学で機械学を専攻
趣味は、サッカー、スノーボードなど、スポーツ全般

中学校の外国語指導助手として、英語を教えることになったアラン・インクスターです。よろしくお願いします。

大学での専攻は、機械学でした。物づくりに携わる仕事がしたいので、将来はエンジニアを目指しています。特に日本の新幹線は素晴らしいと思います。速いだけでなく、安全性・快適性など見習うべき点がたくさんあります。

猪苗代町は、自然がきれいで、住んでいる皆さんもやさしいですね。食べ物もおいしいので、ここでの生活が大変楽しみです。今後は、日本語の勉強をして、早く日本の生活や文化に慣れたいです。

英会話教室や町内で、皆さんとお会いできるのがとても楽しみです。スーパーなどでわたしを見かけたら「ハロー、アラン」と声をかけてください。

— 戸籍事務の電算化について — No.3

7月号から戸籍事務の電算化について連載しています。今回は、戸籍の字名、地番に使用する文字の正字化と、これまで使用してきた紙製の戸籍(平成改製原戸籍)の証明書などについてお知らせします。

●本籍に表示されている文字と地番の表記が変わります

- ①旧字体や誤字などで記載されている本籍地名の文字を、正しい文字に更正します。
 - ②本籍地番から「の」や「ノ」の文字がなくなります。
- ※住民票に記載の本籍の文字も上記①、②と同じ取り扱いになります。

字名(あざめい)文字の更正例	
櫻→桜	曾→曾
澤→沢	藏→蔵
澁→渋	壺→壺
眞→真	富→富
壽→寿	濱→浜

電算化に伴う表記の変更(例)

現在の表示	電算化後
〇〇番地の△	〇〇番地△

除籍・改製原戸籍などの様式

区分	電算化前	電算化後
用紙	普通紙 B4判	偽造防止用紙、A4判
公印	朱印	電子公印 (黒印)

●現在の紙製の戸籍は「平成改製原戸籍」に変わります

戸籍の電算化で、これまで使用してきた紙製の戸籍と戸籍の附票(住民票の住所の履歴を記録したもの)は、それぞれ「平成改製原戸籍」、「平成改製原戸籍の附票」となり、画像にしたものをコンピュータで保存します。この「平成改製原戸籍」、「平成改製原戸籍の附票」の証明が必要な場合は、従来の除籍・改製原戸籍、戸籍の附票と同じように申請してください。

今回は、個人情報の保護と戸籍謄抄本(証明書)の請求手続きについてお知らせします。

●問い合わせ先 町民生活課 町民生活業務 ☎(62) 2114

地域 みんなで子育てを

孤立する子育て世帯

少子高齢化に加え、核家族の増加や近所付き合いの減少などで、子育て世帯が孤立しがちであると言われていきます。本町も例外ではありません。小さな子どもがいるお母さんたちから、「身近に相談できる人がいない」「日中、子どもと二人きりで生活し、孤立していると感じる」などの声を聞きます。

見守るしくみで子育て

子どもが成長し、家の外に出るようになると、実際に地域の人とかかわる機会が増えてきます。あいさつ、交通ルールやしてはいけないことなどを、家族だけではなく、地域の人たちとのつながりの中から学んでいきます。家庭では教えられないことを、地域の人から学ぶ場合もあります。

子どもたちは、地域の人に見守ってもらうことで、危険が多い屋外でも安心して遊べます。



学校に行く途中や遊んでいるとき、大人に会ったら、きちんとあいさつをしなさいと教えられた子どものころ。「こんにちは」「こんにちは、あんたはどこの家の孫だい」そんなやりとりが、いつまでも大切にできる地域づくりを

日中は子どもたちから離れて働く両親も、安心して過ごすことができませんし、過保護にならずに外へ出してやることのできるようになります。

「日ごろから自分のことに注目し、気にかけてくれる人がいる」そう思えば、子どもたちはさらに頑張り、力を発揮していくことができます。

今まで隣近所との付き合いが少なかった家庭の皆さん。そして、地域の皆さん。お互いに、あいさつをすることから始めてはいかがでしょうか。

地域全体で守り育てる

なかには、あまり近所の人と

かわりを持ちたくないという家庭もあるかもしれません。そんな時は、周囲の皆さんが、お母さんや子どもに笑顔が見られるか、子どもが泣いてばかりいないかなどを見守ってください。

9月24日から30日までの1週間、結核予防週間です。「せきが長引く(2週間以上)」「たんが出る」「微熱が続く」「胸が痛む」などの症状がある場合は、結核の可能性があります。早めに病院を受診しましょう。結核は、高齢者に多い病気です。65歳以上の人は、年に1度の胸部レントゲン検診(結核検診)を受けることが、感染症予防法で義務付けられています。まだ胸部レントゲン検診が済んでいない人は、早めに受診してください。受診した時には、医師に「胸部レントゲン検診(結核検診)実施済証」を記入してもらい、11月末までに役場保健福祉課に提出してください。

子どもは、親の手だけで育つものではありません。地域みんなで見守り、育てていく、地域の宝です。そのことを、家族や地域の皆さんが認識することが重要です。子どもたちの心と体が、健やかに成長する環境を整えていきましょう。

結核は、過去の病ではありません。現代の病気です。しかし、早期発見・早期治療により治すことができます。結核を正しく理解し、予防しましょう。

▼問い合わせ先
保健福祉課 高齢者福祉業務
☎(62)2115



ママとお兄ちゃんの遥希くん(左)と一緒にポーズ。

「兄弟2人仲良く、元気に育ってほしい」。パパとママは、そう願いながら2人を見守っています。

佐瀬 夢翔 くん

平成21年9月生まれ
～曲淵 暁さん・優子さん夫婦の次男

「おもちゃの車、すべり台、追いかけて水遊びと、とにかく水遊びをしています。一日中元気に遊んでいます」と、笑顔を見せるママの優子さん。その横では、先ほどまで緊張して、ママから離れなかった夢翔くんが、元気に歩き回ります。1歳の誕生日を迎えた夢翔くんと一緒に遊んでいるのは、兄の遥希くん。夢翔くんのご飯やジュースのお世話までしてくれる、しっかり者です。

お父さんが休みの日には、一緒に遊びたくて、なかなかお父さんから離れないという夢翔くん。平日は、おばあちゃんが仕事から帰ってくるなり、おばあちゃんにべったり毎日、おじいちゃんと一緒にいるお風呂も大好き。家族みんなが大好きな夢翔くんです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

「古典にとらわれず、民謡、演歌や歌謡曲まで可憐に踊りこなす現代舞踊が内海流。美しく、美しく踊れるように心掛けて練習しています」と笑顔でそう語るのは、内海道京師範。練習が始まると、会員の動き一つ一つを確認し、細かい部分まで指導をします。

内海道京会は、会員約20人。火、木、金曜日の週3回の練習に加え、出がいこも実施するなど、精力的に活動しています。

年に数回ある、内海流の発表会のほか、学びいな祭りや新そば祭りなど、町内のさまざまなイベントに参加し、わたしたち町民を楽しませてくれます。

同会では、日本舞踊に興味のある人や見学希望の人も募集しています。

【連絡先】松本トキ子(川桁)
☎(66)3885
※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。
☎(62)2111

うつみ みちきょうかい
日本現代舞踊 内海流 内海道京会
(一級師範 内海道京)



内海師範(前列左から2番目)と会員の皆さん



猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

来年で生誕 400 年 一会津藩祖・徳川 2 代将軍秀忠の子ー

■保科正之公が眠る地 猪苗代の空のもとに集まろう

第 50 回 NHK 大河ドラマ「江」を知る講話 保科正之公を語るパネルディスカッション

- 日時：10月31日(日)
午後1時30分から午後4時30分まで
- 場所：町体験交流館(学びいなホール)
- 内容：「講話」第50回NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」制作の舞台裏
講師 NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」チーフプロデューサー 屋敷 陽太郎 氏
- 「パネルディスカッション」
テーマ 「保科正之公と育んだ人たち」
パネラー 伊藤 義人 氏(名君「保科正之公」の大河ドラマを作る会 全国組織副会長)
阿部 綾子 氏(福島県立博物館学芸員)
片桐 繁雄 氏(上市市立図書館館長)
江花 俊和 氏(猪苗代の偉人を考える会会長)
- コーディネーター 小椋山 六郎 氏
(猪苗代の偉人を考える会会員)



保科正之公

- 「アトラクション」 会津東山温泉芸妓衆の踊り
猪苗代町特産品の展示と販売
- 定員：500人 ※定員になり次第締め切ります。
- 参加費：1,000円(冊子「保科正之公と土津神社」カラー版進呈)参加費は当日会場にていただきます。
- 申込方法：申込用紙に必要事項を記入して、ファクスか郵便で申し込んでください。先着順に受付します。
※申込用紙は、町体験交流館にあります。
詳しくは、電話で問い合わせてください。
- 受付期間：9月1日(水)から10月8日(金)まで
参加申込みをした人には、参加証を送ります。
- 主催：保科正之公生誕400年記念事業実行委員会
- 申込書送付先：町体験交流館 〒969-3123 猪苗代町字鶴田141-1 ☎(72)0180 FAX(62)5350

■関連行事1 保科正之公を語る夕べ

- 保科正之公が眠る土津神社の社人町、土町で、正之公に関心がある皆さん同士の交流を図ります。
- 開催日：10月31日(日)
- 場 所：土町民宿
- 参加費：4,000円(日帰り食事、飲み物付き)
7,000円(1泊2食、飲み物付き)
- ※受付後に郵便振替用紙を送りますので、参加費を振り込んでください。

●関連行事1、2の申し込み・問い合わせ先：町体験交流館 ☎(72)0180 FAX(62)5350

■関連行事2 保科正之公の墓参りと周辺を散策する史跡めぐり

- 保科正之公の墓参りとともに、周辺にあるゆかりの地を巡ります。正之公の気持ちを体感し、周辺の史跡への理解を深めます。
- 日時：11月1日(月) 午前9時30分
- 場所：土津神社周辺(土津神社社務所前集合)
- 定員：50人 ●参加費：500円(史跡マップ進呈)
※小雨決行、ガイドが案内します。参加費は、当日受付で支払ってください。

作品募集のお知らせ

■第9回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト作品募集

- 猪苗代湖、裏磐梯湖沼群の美しい自然と良好な水環境について、多くの人に関心と理解を深めてもらい、湖沼の水環境保全の意識高揚を図るため、作品を募集します。
- 【募集のテーマ】
- ◆猪苗代湖と裏磐梯湖沼群流域の湖沼(河川)の風景や水辺の動植物など、豊かな水環境を表現したもの。
- ◆暮らしの中で、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群流域の湖沼(河川)と人とのかかわりを表現したもの。

- 応募資格：プロ・アマは問わない。
- 応募作品：カラー4つ切、デジタルカメラによる作品可。組写真や合成は不可。
- 応募方法：作品の裏に応募票を貼り、応募してください。
- 応募締切：9月30日(当日消印有効)
- 発表：10月下旬(予定)入賞者に直接通知します。
- 問い合わせ・応募先：
猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
〒960-8670 福島市杉妻町2-16
福島県生活環境部水・大気環境課
☎024(521)7258

町民球技大会地区大会の結果

町民球技大会地区大会は8月1日、千里・長瀬地区で、8日には、翁島・月輪地区でそれぞれ開催され、各地区で熱戦が繰り広げられました。※上位2チームは、9月12日(日)に開催される中央大会への出場権を獲得しました。結果は以下のとおりです。

- 【千里地区】
- ソフトボール 優勝 北高野チーム 準優勝 扇田チーム
- バレーボール 優勝 島田チーム 準優勝 扇田チーム
- 【長瀬地区】
- ソフトボール 優勝 東館チーム 準優勝 白津チーム
- バレーボール 優勝 下館・内野チーム 準優勝 川桁チーム



【翁島地区】

- ソフトボール 優勝 三城潟チーム 準優勝 西久保チーム
- バレーボール 優勝 西久保チーム 準優勝 蟹沢・長浜チーム

【月輪地区】

- ソフトボール 優勝 山潟チーム 準優勝 金曲チーム
- バレーボール 優勝 金曲チーム 準優勝 上戸・上戸駅前・湊志田チーム

※6地区すべての地区大会が終了しました。各地区から多くの人が参加し、楽しくプレーしました。



生涯学習課からのお知らせ

■第9回心の手紙コンテスト「母から子への手紙」一次選考委員を募集

猪苗代町絆づくり実行委員会では、第9回心の手紙コンテスト「母から子への手紙」の一次選考委員を募集します。10月17日(日)の一次選考会に協力できる女性なら、どなたでも結構です。選考委員には、粗品を進呈します。希望する人は、9月30日(木)までに町体験交流館に申し出てください。電話での申し込みも受け付けます。

●問い合わせ先：町体験交流館 ☎(72)0180

■アラン先生の英会話教室がスタート

新しい英語指導助手に、アラン・インクスター先生が着任しました。10月からアラン先生の英会話教室が始まります。皆さん参加してください。

- 【一般初級者コース】午後6時30分～午後7時25分
- 【一般中級者コース】午後7時30分～午後8時30分
- 期日 10月5日、19日、11月9日、23日、12月7日、21日
- 【子どもコース】午後6時30分～午後7時00分
- 期日 10月6日、20日、11月10日、24日、12月8日、22日
- 問い合わせ先：町体験交流館 ☎(72)0180

「民話」を語る会が盛んであるが、その魅力は一体何であるのか。民話には、遠い時代の出来事や人々の思いが巧みに反映されていて、大変興味深い。

「磐梯山から、会津高田町の明神ヶ岳まで足を伸ばし、いたずらをした」

「猪苗代湖から水をすくい上げては、雨を降らせ、里人を困らせた」などのいわゆる手長足長伝説は、全国各地(例えば鳥海山や諏訪湖など)に似たような話がある。手長足長という化物が、会津高田町まで足を伸ばしたという記述は、磐梯山の噴火活動、すなわち火山が噴き上げた噴煙のことを表現しているのではないだろうか。

天狗相撲取り山では、時々天狗が相撲を取り、ドスン、ドスンと音を立てたという。この「ドスン、ドスン」は、間違いなく川桁山(川桁断層)の地震活動のことであろうと思う。当時の人々(縄文人)が、これらを目撃していたとすれば、今から5千年から1万年前くらいまで、川桁山の造山活動があったことになる。

文字を持たない当時の人々が、その恐ろしい光景を、必死の思いで語り継いだ。そして、それが時代を超えて受け継がれてきたのだ。

わたしたちは、民話を通して、縄文人からのメッセージを聞いているのである。(土屋)

教育委員会コラム

〈第五回〉

地デジ



地デジ放送への対応はお済みですか

アナログ放送は、23年6月末で終わります。

7月1日からは、放送終了のお知らせだけの画面になり、7月24日の正午にすべての放送が終わります。したがって、23年7月1日までに、地上デジタル放送を見るための準備をする必要があります。BSアナログ放送も23年7月24日までに終わりますので、BSデジタル放送を見る準備をお願いします。

●地上デジタル放送を見るためには？

- ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える。
- ②地上デジタルチューナーを買い足す。

手当

父子家庭への児童扶養手当(申請受付中)

ひとり親家庭の自立を支援するため、22年8月1日から父子家庭の父にも児童扶養手当が支給されることになりました。

▼対象 18歳の誕生日を過ぎ、最初の3月31日を迎えるまでの児童(一定の障害がある児童は20歳未満)を監護している母、父または養育者に支給されます。ただし、老齢福祉年金以外の公的年金を受けることができない人には支給されません。

▼支給額(月額)

- 第1子 全部支給 41,720円、一部支給 9,850円から41,710円までの金額
- 第2子 5,000円加算
- 第3子以降 1人につき 3,000円加算

▼所得制限 請求者と扶養義務者の前年の所得によって、支給が制限されます。

▼申請方法 町保健福祉課に申請が必要です。添付書類など詳しくは、保健福祉課に問い合わせてください。

※現在使用しているアンテナや屋内配線を交換しなければならない場合もあります。※テレビやチューナーを買い換えても、地上デジタル放送が見れない場合は、総務課に連絡してください。

●地デジ対応テレビ購入の支援があります

テレビを購入するときに、政府がエコポイントによる支援を実施しています。積極的に使ってください(購入期限は、今年の12月末までです)。

このエコポイントは、アンテナ設置工事にも利用できます。詳しくは、電気店に問い合わせてください。

●地上デジタルチューナーの支援があります

経済的な理由などで、地上デジタル放送に対応できない世帯(生活保護受給世帯など)の皆さんに、地デジチューナーを無償で給付するなどの支援制度があります。詳しくは、総務省地デジチューナー支援実施センターに問い合わせてください。

●地デジの準備で困った場合は

「何をすればよいか分からない」「テレビを買ったのにデジタル放送を受信できない」とい

7月31日までに支給要件に該当している人は、11月30日までに申請をすれば、8月分から支給されます。

11月30日を過ぎると、申請の翌月分からの支給になります。

▼問い合わせ先 保健福祉課 社会福祉業務 ☎(62)2115

ごみはしっかり分別しましょう

本町のごみ処理をしている環境センターで、「燃やせるごみ」と「プラスチック製容器包装」の立会調査が実施されました。

その結果、処理場係員から、次のような指摘を受けました。

●燃やせるごみ

資源ごみ(段ボールやプラスチック製容器包装)が混ざっている。

●プラスチック製容器包装

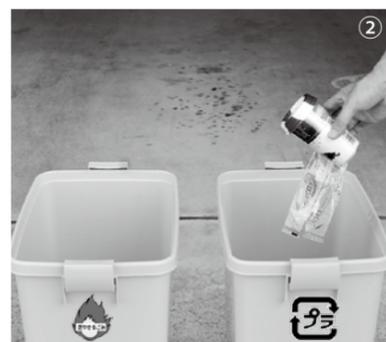
汚れがひどいものや異物(ティッシュ、ストロー、ペットボトル)が混ざっている。

資源にできるごみが焼却されれば、ただ灰になるだけで、貴重な資源が無駄になります。

せっかく分別したプラスチック製容器包装に、不純物が混ざっていると、資源として売却するときに品質ランクが下がります。すると、ごみ処理場の維持管理に充てられるお金が少なくなります。その結果、皆さんが納めた税金から支払われる、ごみ処理場への負担金が増えてしまいます。正しい分別は、環境にも、皆さんの財布にもやさしいのです。

汚れた資源ごみの洗浄は、水で軽くすすいで、目立った汚れを落とす程度で十分です。(※汚れがひどいものは、大量の水で洗ったり、洗剤を使ったりせず、燃やせるごみに出してください)

「ごみカレンダー」をもう一度確認して、上手に分別し、ごみの減量化と資源ごみの品質向上への協力をお願いします。



- ①プラスチック製容器包装でも、汚れのひどいものは燃やせるごみに捨てる(キャップはきれいならプラスチック製容器包装で大丈夫です)。
- ②リサイクルできるものは、きちんと分別して処理しましょう。

●問い合わせ先 町民生活課 生活環境業務 ☎(62)2114

(表) 無料相談会の開催日程と開催場所

開催日	相談会場
10月4日(月)	学びいな
10月5日(火)	猪苗代町防災センター
10月6日(水)	翁島地区コミュニティセンター
10月7日(木)	月輪地区コミュニティセンター
10月8日(金)	樋ノ口多目的集会所

※午前の部 10時～12時 午後の部 2時～4時



▼問い合わせ先

総務課 行政管理業務

☎(62)2111

・デジサポ福島

☎024(505)1010

・総務省地デジコールセンター

☎0570(07)0101

(ナビダイヤル)

・総務省地デジチューナー支援実施センター

☎0570(03)3840

予防

ポリオワクチンの追加接種について

昭和50年から52年までの間に生まれた人は、ポリオの免疫を保有している割合が、ほかの年齢層に比べて低いことが厚生労働省の調査で判明しています。この年代の人は、

1. ポリオウイルスが常にある国に渡航する時
2. 子どもがポリオワクチンの接種を受ける時

に、再度ポリオワクチンの接種を受けることをお勧めします。

この予防接種は、法律に基づくものではなく、任意の予防接種となりますが、費用はかかりません。希望する人は、乳幼児のポリオ予防接種時に併せて実施しますので、事前に保健福祉課まで申し込んでください。

▼ポリオ予防接種日

10月6日(水)、20日(水)

▼時間 午後1時30分から午後2時30分まで

▼会場

町農村環境改善センター

▼問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務

☎(62)2115

相談

人権擁護・行政相談委員合同相談会

毎日の生活の中で、人権問題ではないかと感じたことや法律の取り扱いが分からなくて困ったことはありませんか。

町では、次の日程で人権擁護委員・行政相談委員の合同相談会を開催しますので、この機会にぜひご相談ください。

▼開催日時

9月17日(金)、10月15日(金)

午前10時から午後3時まで

▼場所 町役場3階 日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62) 2111

募集

堆肥用もみ殻の搬入を お願いいたします

町優良堆肥製造施設では、牛ふんと生ごみを原料にして、19年秋から堆肥を製造しています。本年も、堆肥製造のために、水

第、締め切ります。

▼申し込み方法・問い合わせ先

保健福祉課へ電話で申し込んでください。

☎(62) 2115



ちびっこランドの活動の様子

猪高

猪苗代高校同窓会総会を開催します

22年度福島県立猪苗代高等学校同窓会総会を、左記の日程で開催します。同窓生の皆さんの出席をお待ちしています。

▼開催日時 9月17日(金)

午後5時30分

▼開催場所 若喜食堂

※総会終了後懇親会を開催

▼会費 4,000円

▼申し込み・問い合わせ先

猪苗代高等学校内 同窓会事務局

☎(62) 3125

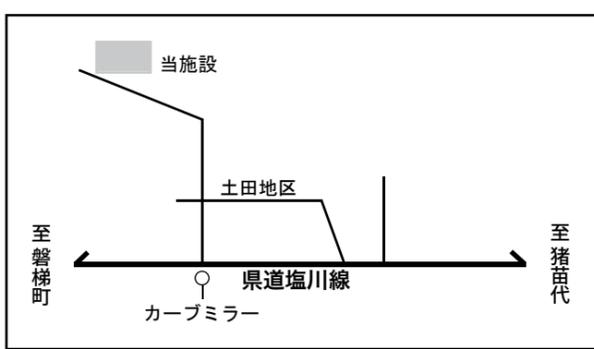
分調整材として使う「もみ殻」を集めます。農家の皆さんの自家処理から発生したもみ殻の搬入をお願いします。もみ殻を搬入した人は、もみ殻の量に応じた「未来の夢たい肥」と交換することができます(後日交換)。

▼もみ殻代 1立方メートル約130キログラム(水分10割程度)を100円で受け入れます。

▼運搬費 軽トラック1台(満載 約2立方メートル) 500円

▼未来の夢たい肥

バラ状で小袋に詰めていない状態・販売価格1キログラム・5円



▼受け入れ期間 10月2日から11月7日の午前8時30分から午後5時まで、土、

掲示板

告示

・第91号「平成22年度軽自動車税督促状の公示送達について」(税務課収納業務)

・第92号「平成22年度町県民税納税通知書の公示送達について」(税務課賦課業務)

・第93号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第94号「平成22年度国民健康保険税納税通知書の公示送達について」

(町民生活課国保年金業務)

・第95号「平成22年度固定資産税1期督促状の公示送達について」(税務課収納業務)

・第96号「公売通知書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第97号「交付要求書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第98号「繰上徴収通知書の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第99号「配当計算書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第100号「国民健康保険被保険者証無効告示」(町民生活課国保年金業務)

・第101号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第102号「猪苗代町議会定例会招集」

(総務課行政管理業務)

・第103号「猪苗代都市計画土地区画整理事業の変更(廃止)」(建設課都市整備業務)

・第104号「猪苗代都市計画道路の変更」(建設課都市整備業務)

・第105号「猪苗代都市計画地区計画の決定」(建設課都市整備業務)

・第106号「債権差押書の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第107号「充当通知書の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第108号「猪苗代町指定給水装置工事事業者指定について」(上下水道課水道施設業務)

・第109号「猪苗代町電波遮へい対策事業費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱」

(総務課行政管理業務)

・第110号「延滞金督促状の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第111号「充当通知書の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第112号「猪苗代町指定給水装置工事事業者指定について」(上下水道課水道施設業務)

・第113号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)

日、祝日も受け入れます。 ※運搬するときは、飛散しないようにシートなどでカバーをしてください。

【換算例】軽トラック1台に満載(約2立方メートル)の量を搬入もみ殻代200円+運搬費500円=700円

未来の夢たい肥に換算すると、140キログラムになります。

所在地 猪苗代町大字磐根字南神送2943(土田地区)

▼問い合わせ先

猪苗代町優良堆肥製造施設

☎080(3190)3273

学びいなかで認知症予防講演会を開催

認知症は、高齢になるほどその発症率が高くなり、85歳を超えると、5人に1人は認知症高齢者になるといわれています。

認知症について、正しい知識と理解を深め、考えるきっかけとして、認知症予防講演会を開催します。

講演会終了後、フラダンス鑑賞、体験を実施します。参加費は無料です。皆さんお誘い合わせの上、お越しください。

▼開催日時

10月12日(火) 午後1時30分から午後4時30分まで

▼場所 町体験交流館学びいなか

▼申し込み

10月12日(火) 午後1時30分から午後4時30分まで

▼会場

町農村環境改善センター

▼申込締め切り

10月1日(金) 定員になり次第

児童

ちびっこランドで楽しく友達づくり

町では、親子の遊びの教室「ちびっこランド」を、前期と後期の2回に分けて開催しています。今回、後期の参加者を募集します。お友達と一緒に思いきり遊びましょう。

保護者の皆さんも、情報交換やリフレッシュの場として、参加してみませんか。

▼対象 町内在住の2歳から4歳までの子どもと保護者20組(※以前に参加したことがある人は除きます)

▼開催日 10月26日(火)・11月16日(火)・12月14日(火)

23年1月18日(火)・2月15日(火)(全5回)

▼時間 午前10時から12時まで

▼会場

町農村環境改善センター

▼申し込み

10月1日(金) 定員になり次第

公告

・第113号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第114号「農用地利用規程の認定について」(農林課農林業務)

・第115号「抑留犬の公告について」(町民生活課生活環境業務)

・第116号「不動産等最高価申込者決定の公告について」(インターネット公告第3号)」(税務課収納業務)

・第117号「農用地利用集積計画について」(農業委員会農地業務)

・第118号「インターネット公告及び見積価格の公告について」(税務課収納業務)

・第119号「土地収用法に基づく事業認定申請書等の縦覧について」(社会福祉法人心愛会)」(保健福祉課高齢者福祉業務)

・第120号「猪苗代町農業振興地域整備計画の変更に係る公告」(農林課農林業務)

・第121号「農用地利用集積計画について」(農業委員会農地業務)

・第122号「猪苗代町指定給水装置工事事業者指定について」(上下水道課水道施設業務)

・第123号「猪苗代町電波遮へい対策事業費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱」

(総務課行政管理業務)

・第124号「延滞金督促状の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第125号「充当通知書の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第126号「猪苗代町指定給水装置工事事業者指定について」(上下水道課水道施設業務)

・第127号「猪苗代町電波遮へい対策事業費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱」

(総務課行政管理業務)

・第128号「延滞金督促状の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第129号「充当通知書の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第130号「猪苗代町指定給水装置工事事業者指定について」(上下水道課水道施設業務)

・第131号「猪苗代町電波遮へい対策事業費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱」

(総務課行政管理業務)

・第132号「延滞金督促状の公示送達について」

(税務課収納業務)

・第133号「充当通知書の公示送達について」

(税務課収納業務)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成22年7月31日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別		増減	増減率%
	平成22年	平成21年		
猪苗代町	58	79	-21	-26.6
磐梯町	14	17	-3	-17.6
裏磐梯	8	11	-3	-27.3
計	80	107	-27	-25.2

罪種別	町村別		増減	増減率%
	猪苗代町	磐梯町		
窃盗犯計	48	68	10	15
空き巣	2			2
金庫破り				1
事務所荒らし				
出店荒らし		3		2
倉庫荒らし	1	1		
侵入盗その他	2	5		1
置き引き		1		
車上ねらい	3	6		1
部品ねらい		1		
脱衣場ねらい	3	9		
自販機ねらい	1	1		1
万引き	11	9		
職場ねらい	2	1		1
さい銭盗	1	1		1
畑荒らし		1		
スキー・スノーボード盗	4	6	7	10
非侵入盗その他	14	12	1	2
自動車盗	1	3		
オートバイ盗		2		
自転車盗	3	7	1	
その他の乗り物盗				
暴行・傷害	1	1	1	1
詐欺・横領	2	1		
遺失物等横領	1	1		
器物損壊	4	5	2	1
その他の刑法犯	2	3	1	1
総計	58	79	14	17
増減			-21	-3

◎空き巣の発生が予想されます。しっかりと家の戸締りをしてから出かけましょう。
◎万引きは立派な窃盗罪(10年以下の懲役または50万円以下の罰金)です。犯罪をしない・させない環境を地域みんなで作っていきましょう。

2 交通事故状況

死亡事故	0	1	0	0	0	0
増減		-1		0		0
人身事故	54	57	11	10	5	7
増減		-3		1		-2

◎観光目的の運転となると、不慣れな道や長距離運転となり、疲れがたまりやすくなります。こまめに休憩し、無理のない安全運転を心掛けましょう。

募 集

将来自衛官として活躍する学生を募集します

防衛省では、次のとおり学生を募集します。

●募集種目

【看護学生】

東京の自衛隊中央病院高等看護学院で、看護師の国家資格の取得を目指し、看護業務に携わる自衛官を養成します。

【防衛大学校学生】

神奈川県防衛大学校で、幹部自衛官を養成します。

【防衛医科大学校学生】

埼玉県の防衛医科大学校で、将来医師の資格を持つ幹部自衛官を養成します。

●資格

高卒(見込み含む)以上21歳未満(※看護学生は24歳未満)

●募集期間

9月6日(月)～10月1日(金)

●1次試験

看護学生 10月23日(土)

防衛大学校学生

11月6日(土)、7日(日)

防衛医科大学校学生

10月30日(土)、31日(日)

●試験会場

郡山市労働福祉会館

※志願書類の請求など、詳しくは下記に問い合わせてください。

◎自衛隊福島地方協力本部

会津若松出張所 ☎(27) 6724

大戦で苦勞をした皆さんに書状が贈られます

先の大戦で、外地など(事変地の区域または戦地の区域)に派遣され、戦時衛生勤務に従事した「旧日本赤十字社救護看護婦」と「旧陸海軍従軍看護婦」の皆さん(慰労給付金受給者は除く)に対して、その苦勞に報いるため、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

本人か家族などからの連絡をお待ちしています。

詳しくは下記まで問い合わせください。

●請求期限は23年3月31日まで

◎請求書類の送付先と問い合わせ先 ☎100-8926

東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 総務省大臣官房総務課管理室 業務担当

☎03(5253)5182(直通) FAX03(5253)5190

戦没者遺児による慰霊友好親善事業を実施中

(財)日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。同事業は、厚生労働省から委託・補助を受け実施しており、先の大戦で父親などを亡くした戦没者の遺児が対象です。父などの戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼をするとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的としています。

また、本年度は事業実施20周年

記念事業として「洋上慰霊」を実施します。参加費は8万円です。

【実施地域】

ボルネオ・マレー半島、ミャンマー、インド、マリアナ諸島、マーシャル諸島、洋上慰霊

※日程などの詳細は、下記まで問い合わせてください。

◎(財)日本遺族会事業課事業係

☎03(3261)5521

内線3656～3658

申し込みは、福島県遺族会へ

発 表

日ごろの学習の成果を披露する発表会を開催

猪苗代養護学校では、日ごろの学習の成果を発表する場として、学習発表会を実施します。劇などのステージ発表、本校の児童生徒と町民の皆さんの作品展、本校の日ごろの活動を体験できるイベントコーナーや作業学習製品の販売コーナーなど、盛りだくさんの内容です。

地域の皆さんと一つになり、楽しい学習発表会を創り上げたいと思います。本校の児童生徒と交流を深めてみませんか。皆さんのご来場をお待ちしています。

●開催場所

県立猪苗代養護学校

●開催日時

10月16日(土)

午前9時20分～午後2時

●ステージ発表

午前9時30分～午前11時

●製品販売・イベント

午前11時～午後12時50分

●外部団体との交流

午後1時～午後1時20分

※進行状況により、時間が若干前後することがあります。

◎問い合わせ先

県立猪苗代養護学校

☎(65) 2151 担当 岩崎

編集後記

▼暑い日が続いていますが、皆さんの調子はいかがでしょう？わたしは夏バテで激ヤセ！する思いで太っています。▼学校の夏休みも終わり、校舎には子どもたちの声が戻ってきました。2カ月間夏休みしていたスクール&トピックスも来月から再開します。▼全国広報コンクール表彰式に出席するため、奈良に行ってきました。全国の優秀な広報マンたちに刺激を受け、もっともっと頑張らなければならないと思いました。▼奈良では、日本で2番目に若い市長、仲川市長とあの有名なせんとうくに会うことができました。ゲストとして懇親会に出席してくれたせんとくんの、愛らしい表情とキラのある踊りにびっくりしました。▼あまりの暑さに、観光名所はほとんど覚えていませんが、一生懸命に説明してくれた、ボランティアガイドの見事なトークが印象に残っています。(大坂)

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

お知らせ

10月1日は法の日です 司法書士無料法律相談

福島県司法書士会では、法の日を記念して、登記、供託や訴訟の手続きなどについて、無料法律相談を実施します。相談内容は、不動産の相続・売買など登記に関すること、多重債務、成年後見、その他訴訟に関することなどが中心です。そのほかにも、皆さんの日常生活に関連する、さまざまな法律相談を受け付けます。

【会津相談会場】10月2日(土)

午前10時～午後3時

●場所 会津若松市中央公民館

(旧会津学鳳高校) ☎(29) 2722

【郡山相談会場】10月2日(土)

午前10時～午後3時

●場所 うすい百貨店

☎024(991)0814

※その他の会場など、詳細については、福島県司法書士会に問い合わせください。

◎問い合わせ先 福島県司法書士会

☎024(534)7502

あなたの大切な権利や財産を守る「公証制度」

10月1日から7日は「公証週間」です。公証制度は、公務員である公証人が、大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与や定款や私文章などの認証など、国の公証に関する事務を取り扱う制度です。

遺産相続、金銭・不動産貸借、離婚の慰謝料や養育費など、もめごとを引き起こしがちな問題では、遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、後のトラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。

相談は無料です。気軽に相談してください。

◎問い合わせ先

会津若松公証役場 ☎(37) 1955

町の人口

平成22年8月1日現在の現住人口(前月比)
世帯数 5,098戸(+17)
人口 男 7,525人(-3)
女 8,223人(+8)
計 15,748人(+5)

出生 10人 転入 48人
死亡 18人 転出 35人

今月の納期

(納期限9月30日)
●国民健康保険税 3期分
●介護保険料 3期分
●後期高齢者医療保険料 2期分
●上下水道使用料 9月分

みんなの美術館

9月は猪苗代小学校のお友達の作品です

Our Museum



「古代生物」

古代生物の本の中で、一番好きなアノマロカリスを描きました。
真ん中に大きく、かっこよく描けました。



小林 尚輝さん(1年)



涌井 哲弥さん(5年)

書道「歩み」

特に書きはじめの部分に注意して書きました。
歩の4画目が特に上手に書けたと思います。満足のいく仕上がりです。



食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 160

鮭と野菜のフライパン蒸し (秋の献立)



【材料】4人分

鮭 4切れ・酒 大さじ2・白菜 280g・しめじ 1パック・水 大さじ2・A(マヨネーズ 大さじ2・白すりゴマ 大さじ1・しょうゆ 小さじ1・水 大さじ1)

【作り方】

- ① 鮭に酒をふっておきます。
- ② 白菜は短冊切りに、しめじは小房に分けます。
- ③ Aの材料を合わせて、たれを作っておきます。
- ④ ②を敷いたフライパンに分量の水を入れ、①を並べます。
上から③のたれをかけ、ふたをして蒸し焼きにします。
- ⑤ ④を器に盛り付けて出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 128kcal、タンパク質 9.2g、脂質 7.8g、カルシウム 143mg、鉄 1.2mg、食物繊維 3.2g、塩分相当量 1.0g

■一口メモ■

鮭に多く含まれるビタミンDは、カルシウムの吸収を促す効果があります。カルシウムを多く含む大豆製品や乳製品と一緒に食べるとよいでしょう。